

会 議 記 録

会 議 名	第五次和光市総合振興計画策定委員会 第4回会議
開 催 日 時	令和元年11月13日(水) 午前9時55分～午前10時25分
開 催 場 所	庁議室
次 第	1 開会 2 報告 (1) 和光100年まちづくり会議 第1回・第2回の開催結果について 3 議事 (1) 第五次和光市総合振興計画基本構想 構想骨子(案)について (2) 第五次和光市総合振興計画基本構想 構想骨子(案)に関するパブリックコメントについて 4 その他 5 閉会

1 開会

2 報告

(1) 和光100年まちづくり会議 第1回・第2回の開催結果について

事務局説明

資料1として事前に配布いたしました「和光100年まちづくり会議第1回・第2回の開催結果について」をご覧ください。

全4回のうち、2回までが終了いたしました。概略を簡単にご報告いたします。

9月1日の1回目は市民約50名の方にお集まりいただきました。また、職員プロジェクトチームからも20数名参加し、70名近い規模で実施しました。

まず、前半は、アイスブレイクも兼ね、緊張されている市民の方にもリラックスした状態で自由にご意見をいただきたいということで、円形ダンボールというものを用いて5～6人がダンボールを囲みながら、また、3ラウンドを、グループを入れ替えながら対話を方法をとりました。

市制施行50周年を迎える年ですので、これから先50年で世の中や和光市がどうなっていくのかというテーマを設定し、意見をいただきました。

後半は、50年後のイメージを持ちながら、もう少し具体的に総合振興計画の期間でもある今後10年の間の課題や取り組むべきことについて市民感覚として意見をいただき、4つのテーマで意見交換を行いました。アドバイザーとして早稲田大学の後藤先生に参加いただくとともに、市長も参加し、市民ワークと一緒に取り組みました。

10月6日には第2回があり、市民感覚で「市民がこのように暮らしている」という市民像や生活像を出してもらうことを意図しました。

その際、第一回のアドバイザーであった後藤先生が開発された「まちづくり人生ゲーム」というワークの和光市版を前半で実施しました。

内容は、この街で生まれてから死ぬまでの様々な人生経験の中でどのような市民の悩みや課題があるのかを抽出し整理するものです。

また、後半はグループ別に、生活像や目標像につながるようなフレーズをグループで検討していただき、各グループ3つほど発表を行いました。

さらに、和光市が今後10年間で目指すまちの目標像をキーワードとして出させていただきました。資料には写真も掲載しておりますので、雰囲気をご覧いただけましたらと思います。

4ページから7ページまでが第1回会議の前半で50年後の和光市を想像し、いろいろな意見を出していただいたものです。

例えば、近年は技術イノベーションが進んでいるので、いろいろな交通対策が考えられるのではないかとといった意見や自然が50年後も残ってほしい、和光にはコミュニティが大事であるなど、幅広く未来のことについて考えた意見をいただきました。

8～9ページは第1回会議の後半についてです。後半は4つのコーナーをつくり、それぞれにテーマを設けました。参加者の方はそれぞれ自分の意見を出したいコーナーに行っていて、意見を出しました。また、2～3個のテーマを渡り歩きたい方は、いくつものコーナーで意見を出していただけるようにしました。

テーマA「安心・安全」、テーマB「生きがい」、テーマC「子ども、子育て」、テーマD「にぎわい・活力」となっております。

10ページ目はアドバイザーとして出席された後藤先生と市長からの総括コメントになります。

テーマごとに和光市の場合こういった場合はこのように解釈したら良いのではないかと、こういう対策が考えられるのではないかとといったようなアイデア、アドバイス、示唆をいただきました。

12ページ目からは第二回会議で実施したまちづくり人生ゲームの和光市版カードの中身です。

いろいろな人生ステージの中でそれぞれの悩みをどう選択していくかという作りで、この中に今和光市が抱えている課題、問題、テーマなどを設問や選択肢に織り交ぜております。

和光市で生活するそれぞれの方の人生を辿りながら、自分自身が和光市あるいは自分として、どういうことが問題、課題なのか抽出して、次の議論に入ります。

17～19ページまではグループ議論の成果です。この時は6グループに分かれて、まちの課題を整理しました。

20ページ上半分では、グループからのまとめ発表内容として実現したい生活像が載っております。

20ページ下半分は将来都市像を作るためのアイデアの基となる意見です。将来都

市像については、和光100年まちづくり会議におけるこれらの意見を元に、案を作成しております。

目標像の内容については、市民ワークショップを受けて、若手職員による職員プロジェクトチームで練り上げ、それをさらに事務局で精査し、作成しております。

本日審議いただく構想骨子（案）につきましては、ご報告させていただいた和光100年まちづくり会議における市民参加や若手職員によるプロジェクトチームによる職員参加を基礎としたものとさせていただいております。

【意見・質問】なし

3 議事

(1) 第五次和光市総合振興計画基本構想 構想骨子（案）について

事務局説明

資料2をご覧ください。

まず、一枚めくっていただき、目次をご覧ください。構想骨子につきましては、将来都市像及び市民生活の目標像から構成されます。

1 ページ目をご覧ください。将来都市像につきましては、こちらに記載されております「みんなをつなぐ ワクワクふるさと 和光」という案を示させていただいております。

2 ページ目には、それぞれの言葉に込められた意味を示させていただいております。

まず、「みんなを」につきましては、第四次和光市総合振興計画における将来都市像「みんなでつくる 快適環境都市 わこう」の考え方を継承し、まちづくりの主体は市民をはじめとした「みんな」であることを示しています。

そのうえで、市内だけにとどまらず、他都市や世界とのつながりなども視野に入れ、積極的につなげていく意思を表明するために、「みんなで」や「みんなが」ではなく、「みんなを」という表現にしています。

次に、「つなぐ」につきましては、総合振興計画策定に向けて開催した和光100年まちづくり会議では、住み続けたいまちになっていくためには、人と人とのつながりが豊かであることが重要であるという意見が多く出されました。若い世代の転出入が特徴の1つである和光市においては、人とのつながりが自然発生的に生まれるのを待つだけではなく、意識的につながりを作っていくことが求められます。

また、人のつながりだけではなく、道路や交通などを含めたインフラ面でのネットワークを強化していくことや、大切な自然環境や歴史資源などを次世代に引き継いでいくことも「つなぐ」という言葉に込めています。

次に、「ワクワク」につきましては、和光市に暮らす人にとっても訪れる人にとっても、「楽しい」と感じられたり「楽しいことがある」と思えたりできるようなワクワク感のあるまちを目指します。ワクワクには「湧く」や「沸く」という漢字を当てはめることができ、活力や賑わいがあり、新しいことが次々と沸き立つような状態をイメージしています。

また、「湧く」という言葉の中には、和光市の大切な地域資源である「湧き水」を

掛けており、和光市の特徴である自然資源を守っていく意思を示しています。

最後に、「ふるさと」につきましては、和光市は東京都心部に直結する立地にありながら、緑が豊かで潤いのあるまちであり、そうした都市と田舎の良さを兼ね備えた状態を維持していくことを「ふるさと」という言葉に込めています。

また、和光市に愛着やシビックプライドを持つことで、和光市を「ふるさと」と感じ、いつまでも住み続けたいと思える市民を増やしていきます。

続きまして、3ページ目をご覧ください。3ページ目には、将来都市像「みんなをつなぐ ワクワクふるさと 和光」を実現するため、和光市で生活する一人ひとりの市民生活をイメージした「市民生活の目標像」を設定しています。

こちらの目標像については、第三回で審議していただいた内容と概ね同様ですが、近年の交通政策に関する重要性の高まりを踏まえて目標像2で交通関連の目標像を特出ししたことや、和光100年まちづくり会議におけるキーワードワークなどで出された意見などを反映した名称の変更を加えております。

4ページに記載させていただいた目標像に関する考え方については、第三回策定委員会でご説明したものと概ね同様ですので、説明は割愛させていただきます。

5ページ以降は、目標像ごとに、どのような姿を目指したいのか、主要な課題は何であるのかを整理したものとなっております。先ほどもお話しいたしましたが、この内容については、和光100年まちづくり会議等での市民の意見を踏まえ、職員プロジェクトチームにて検討したものを事務局で精査した内容となっております。

なお、事前にサイボウズ掲示板にて全庁照会を行ったところ資料4のような意見をいただいております。こちらに意見とそれに対する対応案を掲載させていただいておりますので、併せてご確認いただけましたらと思います。

【意見・質問】

- ・3ページの目標像の資料の見せ方について、資料が全体的に下が土台になって、積みあがっていくようなイメージになっているが、目標像4から7については上から下への並びになっている。こちらも下から積み上がってくるイメージで、下から目標像4・5・6・7とすることもできるのではないのでしょうか。また子どもあんしん部の目標像のところで、目標像4「子どもが自己肯定感を持ち、健やかに育つ」と目標像5「安心して妊娠・出産・子育てができる」の順番について、ライフステージ・時系列に合わせて、順番を入れ替えたほうがわかりやすいのではないかと思います。意見を述べさせていただきます。

- ・全体的に下が土台となっているイメージの中で、そもそもどういった考えで目標像4から7については上からの並びになっているのかを教えてくださいたいと思います。

→ 全体的には下にあるものが土台になっており、高次の目標が積み上がっていくイメージになっています。目標像1から3の日々の生活の基盤が整っているということが土台にあって、目標像10・11・12のシビックプライドを持つなどの心豊かに満足度の高い生活が送れるといった目標が積み上がっています。一方で、目標像4から7については、下が土台になっているという考え方ではなく、

それぞれのライフステージにおいて支援が必要になる場面が特に多いものを時系列的に上から順次並べるようになっており、積み上げになっているという考え方にはなっておらず、上から目標像4・5・6・7の順番となっています。

・今の事務局の意見を尊重するのであれば、目標像1から3が土台になり、その次に目標像4から7が横並びで積み上がり、一番上に目標像10・11・12が積みあがるといった見せ方がいいのではないのでしょうか。中間に目標像の4から9までが位置付けられる、これが事務局の意向を一番反映できているように思います。

・目標像1・2・3、目標像8・9、目標像10・11・12については下からの積み上げになっているが、目標像4・5・6・7はそうはなっていない。見せ方を工夫しないと誤解されてしまうのではないのでしょうか。

・目標像にイラストを使うなど、コンセプトがわかるようなデザインにしたらいのではないのでしょうか。

→ 今、お示ししているのは骨子（案）ですので、ある程度固まった段階で、イラストを使うなどの見せ方の工夫や修正をしていきたいと考えています。

・目標像のところの見せ方で、太字にしている意図は何でしょうか。統一感がなく、太字にしている意図がわかりません。

→ 統一感がないのはその通りですので、検討をしていきたいと思います。

見せ方については検討し、後日委員の皆様にご報告させていただきます。

・将来都市像の作成過程を教えてください。

→ 和光100年まちづくり会議での第2回ワークを通してのキーワードや意見を踏まえてコンサルと協議のうえで10程度の案を作成し、その後事務局で4つの案に絞って、市長・副市長と協議を行いました。その中でどれを選ぶということではなく、それぞれの案の良いところを選びすぐり、コンセプトを再構築して作成しました。

・5ページの目標像1「良好な住環境が得られる」のところで、現在空家の総合的対策について所掌する部署が定められていないので、この第五次総合振興計画の中できちんと「空家の総合的対策」の位置づけを行い、所掌部署を定め、空家の総合的対策を進めるべきではないのでしょうか。まち・ひと・しごと創生総合戦略の中では「空家の活用」についての記載があるにもかかわらず、所掌する担当が決まっていません。第五次総合振興計画はまち・ひと・しごと創生総合戦略と合わせた内容で作成しているとのことですので、ぜひ、考え方を取り入れていただきたいと思います。

→ 和光市でも空家については今後問題になってくると考えられますので総合振興計画の中での検討をしていく必要があるとは思いますが、目標像に入れることについては温度差もあると思います。所掌事務も含めて今後、検討していきたいと思います。

骨子（案）についてはおおむね原案のとおりとして進めてよろしいのでしょうか。

・冒頭でもお願いした、目標像4と5の記載内容を入れ替えるということについてはいかがでしょうか。変えていただけるということでもよろしいでしょうか。
→ 順番を入れ替えるという方向で検討します(※)。詳細につきましては委員長一任ということで後程、お伝えさせていただきます。
※その後、順番を入れ替えるべきと発言された委員と事務局との協議により、順番を入れ替えず、イラストで順番の意図を分かりやすく表現する方法に見直すことになった。

(2) 第五次和光市総合振興計画基本構想 構想骨子(案)に関するパブリックコメントについて

事務局説明

資料3の「基本構想構想骨子(案)に関するパブリックコメントの実施について」をご覧ください。

まず、構想骨子(案)に関するパブリック・コメントの目的について、ご説明いたします。

本市で実施するパブリックコメントについては、最終的な計画案を対象に実施する場面が多くなっていますが、総合振興計画については、市の最上位の計画であること、市民参加を充実させる観点から、その概要である「構想骨子(案)」の段階で一度パブリックコメント実施し、その意見を反映したうえで、詳細な計画素案の策定を進めてまいります。

次に、パブリックコメント手続の概要についてです。

この度の第五次総合振興計画基本構想 構想骨子(案)につきましては、パブリックコメントの意見提出期間を令和2年1月14日から2月2日の20日間を予定し、周知につきましては1月広報や市HP等を予定しています。

またこのパブリックコメントの実施に伴い、説明会を開催します。1回目は1月19日(日)に市役所の602会議室にて第4回和光100年まちづくり会議の後のに行います。2回目は1月20日(月)に坂下公民館の視聴覚室にて開催します。検討結果の公表については令和2年3月頃を予定しています。その後、第五次和光市総合振興計画基本構想素案に関するパブリックコメントにつきましては令和2年6月頃を実施することを予定しています。

【意見・質問】なし

4 その他

事務局説明

次回の総合振興計画策定委員会につきましては、令和2年2月12日(水)の政策会議後に開催を予定しております。内容は、第五次和光市総合振興計画基本構想素案についてご確認いただくことを予定しています。

【意見・質問】なし

5 閉会